

「富岡製糸場と絹産業遺産群」
世界遺産登録3周年記念
上毛新聞創刊130周年記念

花まゆ展

繭から生まれた花

2017年9月21日(木)~27日(水)

群馬県庁昭和庁舎2階 第一・二展示室
10:00~18:00 (入場は17:30まで) <入場無料>

大切な繭で心を込めた花を

「天の虫」と書くお蚕さん。まさに繭は天から頂いたもの。群馬の養蚕農家が大切に育てた繭だからこそ、無駄にすることなく、その命を愛おしく、感謝しつつ繭で花を作ります。

花の持つ姿を表現するためには、花の顔を朝晩眺め、対話しつつ、一番の美しさを感じ取り、どれだけそれに近寄れるか。そして、それを繭で作るにはどうすればよいのか……。繭の形を崩さずに、無駄なく、繭と自然の花が一体となって、繭でしかできない花となる、それが花まゆなのです。

今回の作品展は、群馬県の皆さまが守ってきた世界遺産の登録3周年と、上毛新聞創刊130周年を祝し、群馬県の繭を使わせていただく私たちの感謝の気持ちを表すべく、ここ群馬の地で開催させていただきます。

花まゆ主宰 酒井 登巳子

花は軽やかで、風に揺れ、薄い花びらは光を透過し、また光を包み込み、実際に穏やかで、心和ませる花となります。



(本文から)



蘭の自然な丸みは、そのまま花のふくらみになります。蘭はそのまま花になります。

(本文から)

蘭を使い切る…それは花
まゆの精神でもあり、
蘭を使わせていただけで
いる感謝の気持ちです。

(本文から)

酒井 登巳子 さかい とみこ／花まゆ主宰

プロフィール

- 1970年 造花活動に入る。マーガレット染料を考案。
1988年 花まゆを考案。
1992年 第1回「花蘭展」を名古屋市東山荘にて開催。
1999年 「花まゆ」の商標登録。
2000年 日本橋高島屋で花まゆ展を開催。
2006年 花まゆ写真集「蘭から生まれた花」出版。
2012年 大日本蚕糸会より、蚕糸功労賞を受賞。
2015年 第18回「花蘭展」を名古屋市東山荘にて開催。

群馬県観光特使。富岡シルクブランド認証委員会副委員長。

現在、東京・名古屋・大阪・京都を中心に花まゆ教室(50カ所)を展開。

〔主な展示会〕

- 2010年 6月 中国上海万博/日本館・日本政府主催のレセプション会場展示。
10月 米国ワシントンDC日本大使館・日本広報文化センターにて「花まゆ展」開催。
2011年10月 群馬県富岡製糸場にて 第1回「花まゆ展」開催。
2012年 9月 富岡製糸場創立140周年記念行事 第2回「花まゆ展」開催。
2013年 2月 ユミカツラブランドコレクション 花まゆ天蚕ベール制作。
2014年10月 富岡製糸場・世界遺産登録記念事業・第3回「花まゆ展」開催。
2015年 9月 群馬県立日本絹の里・第33回企画展「花まゆ展」開催。
11月 仏リヨン市庁舎にて「世界遺産・富岡市とプール・ド・ベアージュ市友好都市提携記念式典」展示及びリヨン織物装飾芸術博物館にて「絹が結ぶ縁」展参加。
2016年10月 岐阜県多治見市幸兵衛窯にて、幸兵衛三代の作品との共演。
2017年 9月 『蘭から生まれた花Ⅱ』出版記念展 群馬県昭和庁舎。



綺麗な白蘭以外にも、さなぎを取り出した切り蘭や、製糸過程でできる副産物も使用。

(本文から)

作品集 『蘭から生まれた花Ⅱ』

上毛新聞社刊(9月上旬発行予定)

A4判変型 並製本 本文104頁(オールカラー)
定価：本体2,400円+税

お蚕さんの尊い命を、無駄にすることなく花にしたいー。47年にわたって造花を仕事にしてきた著者が、蘭の自然な形をそのまま表現して、かつ蘭を生かす花を作りたいとの思いで始めた「花まゆ」の作品集。薔薇の作品を中心に世界遺産4資産や多治見・幸兵衛窯とのコラボ、野に咲く花、暮らしを彩る花など、蘭から生まれた美しい花の作品集です。

会場のご案内

群馬県庁昭和庁舎2階 第一・二展示室

群馬県前橋市大手町1-1-1
昭和庁舎管理事務所
☎027-226-2119



- 電車・バス：JR両毛線前橋駅下車、バス約6分「県庁前」下車。
- JR上越線・吾妻線新前橋駅下車、バス約7分「県庁前」下車。
- 車：関越自動車道前橋I.C.から国道17号経由、約10分。
北関東自動車道前橋南I.C.から前橋長瀬線経由、約25分。
- 駐車場：県民駐車場775台 入庫から2時間無料。

